

にぎわい Vol. 25 2023年 NEWS



日進市にぎわい交流館
公式キャラクター
「わいわい」

〈にっしんの宝〉 東部丘陵を 自然公園にしたい！

【特集】市民活動団体インタビュー 東部丘陵を守る連絡会

Contents

- 【特集】市民活動団体インタビュー
- にぎわい掲示板
- ワンデイシェフ・マーケット・ギャラリー
- にっしんわいわいフェスティバル2023



ハッチョウトンボ



ハルリンドウ



シラタマホシクサ



6月中旬の雑木林と水田

「自然が濃くなり、生き物の息づかいを感じる」

そんな感覚を経験したことがありますか。東部丘陵に足を踏み入れると、虫や蛙や鳥の鳴き声、草木が風に揺れる音が大きくなり、普段の生活では耳にできない自然の音が聞こえてきます。

日進市総合運動公園の北東、岩藤新池へ続く道には「守ろう東部丘陵 つくろう自然公園」と書かれた黄色いのぼりが立っています。これらは「東部丘陵を守る連絡会」のみなさんが立てたものです。

東部丘陵の豊かな自然を守るために活動を続ける、守り人たちにお話をうかがいます。



なんたこれ？

エビフライ？
誰かがお弁当を食べていて落としてしまった？
ま、まさかエビフライだけに飛んできたとか？

その真相は中面で！！



1

2



東部丘陵の



①渡り鳥のハチクマ。蜂を食する鷹。初秋には日本を離れ南へと渡っていく ②7月の岩藤新池 ③4月初旬のフモトミズナラ ④トウカイクモウセンゴケ。6～8月頃に開花する食虫植物

多様な生物を育む東部丘陵

日進市東部を含むまとまった緑地帯を「愛知東部丘陵」と呼びます。ここは猿投山からつながる丘陵の最西端に位置します。緑と水に恵まれた丘陵は、地下水を蓄えながら新池や鶴思慕池を満たし、天白川へ絶えることなく水を送り続けている水源の地です。

市街地では見られなくなった水辺や草地、雑木林などのさまざまな環境があり、写真で紹介した貴重な生き物をはじめ、自然を形作る多様な生命が息づいています。

また、「土砂流出防備保安林」にも指定されていて、日進の地を潤しながら土砂の流出を防いで、水害から私たちの生活を守ってくれる役目を持っています。

反対運動で守った東部丘陵

現在は緑で覆われている丘陵ですが、江戸時代には、陶土採掘や薪の利用により伐採が進み、「禿げ山」となったそうです。丘陵は保水力を失い、各地で土砂崩れの被害が起きました。明治の地形図には、その被害の記録が残っています。

明治以降、丘陵での伐採を禁止し、多くの方の努力によって植林が進められ、緑を取り戻しました。

しかし2001年、この丘陵にも開発の手が伸びてきました。ガラスの原料である珪砂や焼物の原料となる耐火粘土等を採掘するための「鉱業権」が認められたのです。

豊かな自然と水源の森が失われることに「NO」の声を上げた市民により、2000年代初め、東部丘陵を守る連絡会の前身

となる「日進東部丘陵・水源の森トラストの会」が発足しました。

丘陵は土砂流出防備保安林に指定されているため、指定が解除されない限り、採掘はできません。なんとしても解除を食い止めようと反対の署名を集めたり、市・県や国に対して意見書を提出したり、丘陵の自然を守るために奔走しました。

その反対運動が実を結び、2010年、開発業者の保安林解除の申請に対し、農林水産大臣の「不許可」の判断が下りました。これは全国的にも初めてのケースだったそうです。

丘陵の大切さを伝えるために

2011年、トラストの会は東部丘陵を守る連絡会へと改称し、その後も毎年、市長へ東部丘陵を守る要望書を提出したり、クリーン作戦を実行したりしています。

その他にも、日進市環境課のにつしん ESD 事業の委託を受け、2014年から親子で学習できる環境講座を開催して、丘陵の大切さを伝えてきました。

2022年度は「につしんの宝・東部丘陵を大切に守ろう！竹を考える」をテーマに、丘陵の竹を使って鳥笛を作り、東部丘陵の動植物や歴史について学びました。

「今までかろうじて残った貴重な自然を孫子の代に引き継いでいきたい。だから、東部丘陵がどんなところで、どんな役目をしているのかを知って関心を持ってもらいたい。市民のみなさんと一緒に守っていきたくと思っています」

2018年からは年1回「東部丘陵クリーン作戦」を実施しています。「その黄色い葉はヤマコウバシ。湿った落ち葉を揉み



10 東部丘陵クリーン作戦



12 東部丘陵クリーン作戦

⑩丘陵沿道のゴミ拾いをする様子。帰りはゴミ袋がいっぱい。

⑪なぜこんなところに冷蔵庫が？ ⑫こんなにたくさんのゴミが集まった。



13 環境講座

⑬2022年度の環境講座のチラシ。テーマは『竹を考える』

⑭2018年はステンシルや柿渋染め、虫の観察会を行った。

14

希少な動植物



⑤地面に張り付くトウカイコモウセンゴケの葉 ⑥4月中旬の雑木林と水田 ⑦4対8本のくちびげを持つホトケドジョウ ⑧4～6月頃に見られるギフチョウ ⑨2010年初冬の雑木林の紅葉



※表紙の小粋4枚・①～⑨・リスのエビフライの写真は鬼頭弘さん提供

ほぐすと香りがするよ」「これはヒモミノガ。ミノムシの仲間です。紐みたいなミノをつくるの」「あれはサクラバハノキ。水辺に生える植物だよ」など、約 1.2 km の沿道や岩藤新池周辺のゴミ拾いをしながら、会員の方がその場で目にした植物や昆虫の説明をしてくれます。

昨秋のクリーン作戦でも、煙草の吸い殻、ペットボトル、弁当の容器などで、いくつものゴミ袋がいっぱいになりました。掃除機やトイレの便座、ゴルフバッグなどの不法投棄もありました。「なんで捨てちゃうんだろう？ ここが川の始まりだと知っていれば、ポイ捨てしないと思うんだけどな……」ゴミの山を目の当たりにした参加者の声です。

「毎年、ゴミ拾いをしている甲斐もあって、これでもゴミは少なくなったほう。東部丘陵は水源の森。ゴミのない綺麗な状態のまま、自然のまま未来につなぎたいんだ」そう語る会員の方々の言葉が胸に響きます。

孫子の代まで守っていききたい

日進市は 2002 年に「東部丘陵保全基金条例」を定め、「市東部の丘陵地における緑豊かな自然環境の保全及び快適で安全な市民生活の確保を目指した環境の整備を図る」としてしています。これから 10 年の市の指針である第 6 次総合計画にも、東部丘陵を守ると記されています。

20 年以上前から天白川の支流の岩藤川でゴミ拾いと自然観察を続ける会員の方は、「この 20 年で林がずいぶん変わってきている。どんだん崩壊的に丘陵が狭くなっている。植物も、カエルの個体数も減っている。現在、開発はストップし、

なんだこれ？の答えは…



ごちそうさまでした



リスのエビフライ (松ぼっくり)

リスが食べた松ぼっくりの残りを、形がエビフライに似ていることから『リスのエビフライ』と呼びます。これが落ちていたら、リスに出会えるかも。

保安林として保護されているけど、丘陵の大部分は民有地。この先どうなるかは不安。だから自然公園にして保全していきたい」と話します。

想像してみてください。日進東部に広がる緑地帯が、禿げ山になった茶色の景色を。雨が降る度に濁流が勢いを増し、天白川の決壊を心配する私たちの姿を。恐ろしくありませんか。

地球温暖化対策としても、身近にある緑地環境はとても大事です。春はハルリンドウが、夏はトウカイコモウセンゴケが、秋はシラタマホシクサが咲き、四季折々の景色を楽しませてくれる東部丘陵は、私たちの心を癒し、生活を守っています。

だからこそ、行政と企業と市民が三位一体となって、水源の森である東部丘陵の自然を、これからもずっと守っていかれるようにと願わずにはられません。

遠くに行かずとも身近に自然がある。それは日進の宝です。東部丘陵を守る連絡会』のみなさんが守り続けている東部丘陵に足を運んでみてください。その豊かな自然がきっと私たちに自然の大切さを教えてくれます。

15 保全基金募金箱



⑮日進市役所本庁舎 1 階の入口付近に置いてある東部丘陵保全基金募金箱

16 功労賞が贈られました



⑯2022 年 12 月、功績が評価され日進市より功労賞が贈られた。

東部丘陵を守る連絡会

会員募集中!



一緒に東部丘陵を守っていきませんか?



連絡先

TEL: 0561-74-0453 (石黒)
FAX: 0561-73-1220 (山崎)

